

一橋大学 2021年(前期) 日本史 解答

I

1 特産物などの調や布などの庸は、計帳に基づいて成年男子を対象として賦課され、郡司の下で戸ごとにまとめて徴収され、人民の運脚により中央政府へ納入された。2 力を伸ばしていた開発領主らは、中央政府から国内統治を委任され、公領への支配を整えていった国司によって郡司・郷司・保司に任命されて徴税を請け負わされた。また、彼らは在庁官人となって国衙の行政に進出し、そして所領を中央の権力者に寄進して荘官に任じられ、私的支配を加速化させた。3 土倉役。酒屋役。土倉役は、高利貸し業者である土倉への営業税であり、酒屋役は酒造業を営む酒屋に課した営業税である。4 分地制限令。農民らが農地を分割相続することを禁止した法令であり、石高制に基づき本百姓からの年貢を経済基盤とする江戸幕府が、分割相続による本百姓の経営の零細化・没落化を防いで本百姓体制の維持を図った。(370字)

II

1 参勤交代が消滅して家臣の集住の機会が無くなり、身分制の解体も相まって旧武士階級が離れたから。2 「日本之下層社会」。横山源之助。3 大戦景気で急激な都市大衆化が起こり、郊外文化住宅も受容され始め、重工業の発展で労働者人口も増加し、鉄道の伸長が沿線での住宅地開発をもたらして郊外と都市間の通勤流動性を上昇させた。また関東大震災の被害を受けた市街地から郊外への移住により郊外人口が増加して急速に都市化が進展した。昭和恐慌時には都市での失業者が帰村する状況もあったが、高橋財政や広田内閣における軍需インフレにより軍需産業が拡大し、日中戦争が勃発すると軍需工場の郊外化も進行して工場労働者が徴用された。4 戦前には軍隊動員による内地人口減少や軍需工場移転・疎開により人口が急減したが、戦後には戦地からの復員や、後の高度経済成長の開始に伴う東京府への人口・企業集中、農村からの若年労働者の流入が生じた。(394字)

※問2は【「最暗黒の東京」。松原岩五郎。】でも可

III

1 ①15。②新婦人協会。③治安警察法。④日本社会党。2 従来の良妻賢母主義を否定し、封建的で古い因習から自己を解放し、自由で自立的な生き方をしようとする女性像。3 戦前の日本においては労使間の意思疎通のために設置されていた工場委員会も使用者の諮問機関の域を出ず、労働争議の抑圧を目的とした治安警察法第17条が撤廃されても依然として労働運動への抑圧政策は継続され、治安維持法による弾圧もあり、さらに労使一体の産業報国会の組織で全ての労働組合が解散させられたりしていた。そのため、対日占領政策において日本の民主化を進めたGHQは軍国主義の資金源ともなった資本家の地位の弱体化および国内市場を狭隘にしたことで戦前の日本の海外輸出・進出促進の原因ともなった労働者の低賃金構造は正による労働者の所得水準向上を目指して労働組合の結成を奨励した。4 男女雇用機会均等法。国連総会において女子差別撤廃条約が採択されていた。(400字)

※問1の④は社会党でも可。